

人工知能VS松本市長！ 市長が特殊詐欺を体験！

～県市合同特殊詐欺防止キャンペーンにて特殊詐欺防止訓練AIツール体験会開催～

尼崎市は拡大する特殊詐欺被害の防止対策の一環として、県（県民生活部くらし安全課）と連携し市内商業施設にて合同の特殊詐欺防止キャンペーンを8月3日（土）に実施します。

キャンペーンでは尼崎市、学校法人東洋大学（注1）、富士通株式会社（注2）が共同研究を進めている生成AIを活用した特殊詐欺防止訓練AIツール体験会を実施するとともに、自動録音電話機等普及促進事業のPRを行います。

特殊詐欺防止訓練AIツール体験会では、生成AIを活用し特殊詐欺の手口を再現することで、実際の特殊詐欺の電話を疑似体験してもらいます。デモンストレーションとして、松本市長と糸井嘉男氏（阪神タイガースOB：兵庫県特殊詐欺対策サポーター）が特殊詐欺の手口を学習した最新の人工知能と会話することで、特殊詐欺を疑似体験します。希望者には、市長と同様に特殊詐欺防止訓練AIツールを体験いただきます。

ぜひ、当日の様子など御取材いただきますようお願い申し上げます。



1 キャンペーン概要

- (1) 会場
あまがさきキューズモール 3階 レンガの広場（尼崎市潮江1丁目3-1）
- (2) 日時
令和6年8月3日（土） 午前10時30分から1時間40分程
- (3) タイムスケジュール

時間		内容
10:30～		イベント開始
	10:30～10:40 （10分）	出席者挨拶 松本市長 木村兵庫県県民生活部長 桐生教授（東洋大学） 紺野プロジェクトディレクター（富士通株式会社） 糸井嘉男氏（阪神タイガースOB：兵庫県特殊詐欺対策サポーター）
	10:40～10:50 （10分）	特殊詐欺防止訓練AI体験 市長・糸井氏体験 （体験の様子をモニターで公開）
	10:50～11:10 （20分）	市長・桐生教授・糸井氏・紺野プロジェクトディレクター 意見交換会
	11:10～12:10 （60分）	希望者による訓練AI体験（10分×6回×2人） 12人程度の体験会
12:10		イベント終了

※イベント実施中に会場付近で自動録音電話機等普及促進事業のPRチラシの配布を行います。

(4) 取材対応

キャンペーン当日に現地での取材いただける場合は、前日までに尼崎市生活安全課へ電話にてご連絡をお願いいたします。

市長を交えた意見交換会后、一般希望者のA I 体験中に、現地で兵庫県・尼崎市・東洋大学・富士通にて取材対応をいたします。

① 申込期限 : 令和6年8月2日(金) 16時まで

② 申請事項 : 会社名・取材者(代表者名・人数)・連絡先

③ 申込連絡先: 尼崎市生活安全課(安田・岡部) TEL: 06-6489-6502

2 体験会(一般参加は今回初)

昨年は、実証実験の一環として関係者や実験協力者を対象に特殊詐欺防止訓練A I ツールの体験会を実施しました。

今回は、希望する一般市民が参加できる初の体験会となり、先着で12人程度の参加希望者に体験いただけます。

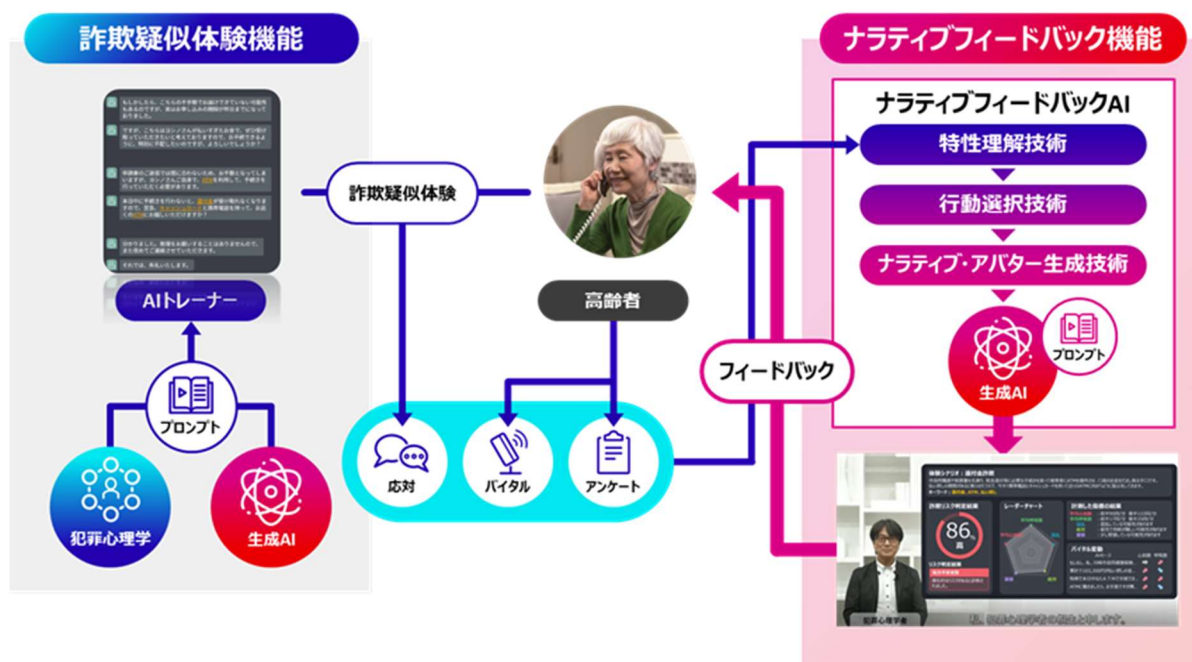
また、デモンストレーションとして、松本市長と糸井嘉男さん(阪神タイガースOB: 兵庫県特殊詐欺対策サポーター)が特殊詐欺防止訓練A I ツールを体験し、その様子をモニターに映します。体験後に、東洋大学の桐生教授から解説を行ってもらい、市長や糸井嘉男さんも交え、意見交換を行います。

希望者には特殊詐欺防止訓練A I ツールを通じ、最新の手口を体験し、特殊詐欺被害を防ぐための個別のポイントを伝えるなどの特殊詐欺被害に遭わないための訓練を体験していただきます。(図1参照)



糸井 嘉男氏

(阪神タイガースOB)



【図1】 特殊詐欺防止訓練A I イメージ

【特殊詐欺訓練A I ツールの実証実験の様子】

令和5年11月30日~12月1日の2日間、尼崎市にて実施した特殊詐欺訓練A I ツールを使った実証実験の様子です。



3 共同研究

犯罪心理学×最新のA I技術によって、生成A Iを用いて特殊詐欺の手口を再現する模擬の訓練者（以下、「A Iトレーナー」といいます。）とリアリティのある会話が可能な特殊詐欺防止訓練A Iツールを開発しました。

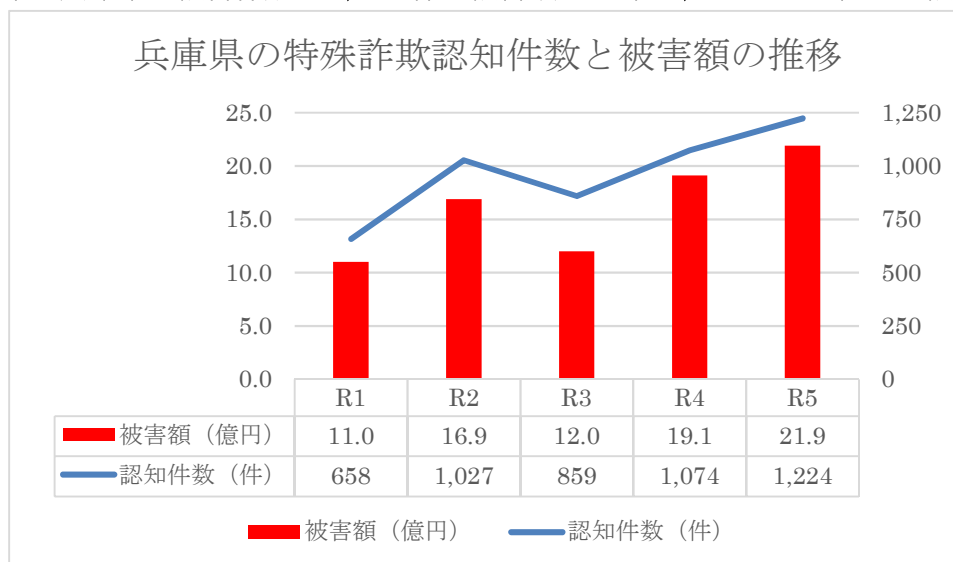
特殊詐欺に共通する会話のパターンを学習し再現する機能を持つ、訓練A Iツールを用いて、参加者には臨場感のある会話から特殊詐欺の手口を疑似体験してもらうことができるようになりました。

体験中に非接触センサーが測定するデータを基に、生理反応・心理的特徴を分析します。そして、訓練体験後には体験者の特殊詐欺に騙されるリスク値を示し、体験者それぞれに合わせたナラティブ（注4）フィードバックを行うことで、体験者の納得感を高めます。

今後は、市内の固定電話または携帯電話でA Iトレーナーと特殊詐欺の疑似体験ができる訓練を予定しております。同時に、ご協力いただける方のご自宅には非接触型センサーを設置し、家庭内で特殊詐欺に引っかかっている様子を診断する「特殊詐欺推定A I」の実証実験を合わせて予定しています。

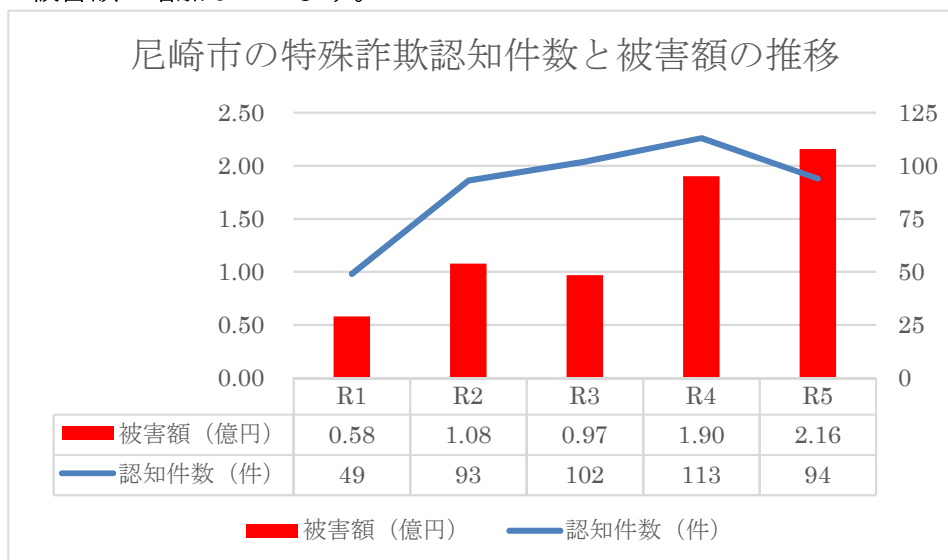
4 兵庫県・尼崎市の特殊詐欺被害件数及び被害額

令和5年の兵庫県の被害件数は1,224件、被害額は21億9,000万円と甚大な被害が出ています。



尼崎市の被害件数は94件、被害額は2億1570万円となっており、兵庫県の被害のうち約1割が尼崎市で発生していることになります。

令和5年の尼崎市では、被害件数は前年と比べ19件減少しましたが、被害総額は増加しており、1件あたりの被害額が増加しています。



(注1) 学校法人東洋大学：所在地 東京都文京区 理事長 安齋 隆

本研究では、社会学部長である桐生正幸教授のもと、東洋大学が開発した心理尺度を用いた心理状態の測定や分析を行います。



東洋大学
桐生教授

桐生教授は、科学捜査研究所で犯罪心理に関する検査や分析を行っていた経歴を持ち、現在東洋大学社会学部長を担うなか、社会心理学科の教授として、統計手法を用いた犯罪心理学に関する研究を行っています。また、日本犯罪心理学会常任理事や日本カスタマーハラスメント対応協会理事を務められています。

(注2) 富士通株式会社：本店 神奈川県川崎市 代表取締役社長 時田 隆仁

本研究では、富士通株式会社の研究部門の1つであるコンバージングテクノロジー研究所が、デジタル技術と人文社会科学を融合した特殊詐欺防止技術の開発を行います。



富士通（株）
コンバージングテ
クノロジー研究所

本研究所では、富士通が長年培ってきた自然科学の知見をベースに、人と社会にフォーカスして異分野融合を進めており、デジタル技術と人文社会科学の融合により、人と社会を深く理解して働きかけ社会課題を解決するコンバージングテクノロジー（融合技術）の実現を目指しています

(注3) 共同研究：令和4年3月 広報資料「日本初！A I × 犯罪心理学で特殊詐欺対策～学校法人東洋大学、富士通株式会社との共同研究開始～」



中間報告：令和4年9月 広報資料「特殊詐欺対策共同研究成果を試作品でデモンストレーション！～心理状態を11の要素により数値で把握し、A I モデルの構築へ～」



第二期共同研究開始：令和5年4月 広報資料「特殊詐欺推定A I モデル実現、未来の防犯対策まであと一歩！？～第二期共同研究開始～」



体験会実施：令和5年11月 広報資料「特殊詐欺防止訓練A I ツールを開発～生成A I による詐欺体験～」



(注4) 当事者の体験談や専門家からのメッセージなどの「語り」。行動変容の分野では、ナラティブは数値や事実の提示に比べて高い納得感を与え、行動変容を促すことが確認されている。

このような取組を報道していただくことで、特殊詐欺防止に向けたより強力な啓発につながるものと考えておりますので、ぜひ報道関係の皆様のお力添えをお願い申し上げます。また、兵庫県からも同様の内容で報道提供させていただいております。